

政策調整会議の概要

開催日 平成 22 年 5 月 27 日 (木)

◎項 目

- 1 年間の広報計画について【総務部】
- 2 その他

◎内 容

1 年間の広報計画について【総務部】

総務部から年間の広報計画案について説明を行い、意見交換を行った。

【概要説明】

- ・年間の広報計画は、広報広聴課で行う広報だけでなく、各部局が行う部局広報も含めた。
- ・月ごとの広報計画は、年間広報計画をベースに、各施策の進捗状況や新たな広報素材等の状況を踏まえて、2 カ月先の各月の広報計画案を政策調整会議、庁議に諮って協議いただく。
- ・県が主体的にやる広報という意味から、報道機関への情報提供や投げ込み、市町村や関係団体と連携した広報は除外する。
- ・年間計画は四半期ごとにきちんとローリングするのか、毎月もう一回精査した計画を出すのか。また、現在、庁議資料の「各部局等の今週の動き」で広報の枠を設けて報告をしているが、政策広報推進会議では、月別があれば不要ではないかという意見が出た。

【意見交換】

- ・四半期に 1 回でいいんじゃないか。(副知事)
- 基本は、四半期に 1 回、実績と次以降の計画をローリングして報告する。それから、月ごとの計画は毎月 2 カ月先の計画を政策調整会議で諮ってから、翌週の庁議で諮る。「今週の動き」の広報枠は取る。

2 その他

- ・口蹄疫対策について、県警も月末から宮崎県へ 35 名派遣する予定だが、帰ってきた時の消毒体制について、自分達だけの対応で十分か、もしくは消毒体制が県のほうであるのかどうか。(警察本部)
- ・防疫対策については、防疫員を中心にした防疫対策会議で決めているので、所管の農業振興部の対応になる。既に宮崎に行って帰ってきた方もいるので、その時の方法に準じて消毒していただければいい。(危機管理部)
- ・口蹄疫について最新の状況を報告する。宮崎県内の発生件数は 218 例、2 市 5 町。殺処分対象の家畜の頭数は 15 万 2,357 頭。ワクチンの状況は、昨日現在で 21 戸を残して、すべてワクチンの接種は終わり、合わせて約 30 万頭弱が順次殺処分に入る。県内の状況は、一昨日現在で、20 日、21 日に配布した全戸消毒が終わっている。精液は分散して保管済み。九州から高知へ入ってくる車両と人については、宿毛港で現在も 24 時間体制で消毒の対応にあたっている。防疫員については、現在も 1 名派遣している。(農業振興部)